

蜂の種類とその対策

伊東市シルバー人材センター 安全推進部

当センターで、過去 10 年間に蜂に刺された事故として傷害保険の対象としてあがったものは 5 件となっておりますが、実際には年間数件、蜂に刺されたとの話を聞いております。蜂に刺されて 1 日通院し、その分の保険を申請するのも面倒だと言うのが大きな理由です。実際、保険申請のあった 5 件につきましても、全てが通院 1 日での完治となっております。幸い大きな事故にはなっておりませんが、最悪死に至るケースもありますので、蜂への対応や刺された時の対処について知っておきましょう。

刺す蜂の種類

日本にいる蜂の中で刺す蜂の代表的な種類として、**アシナガバチ類**、**スズメバチ類**、**ミツバチ類**、**マルハナバチ類**がおり、いずれも働き蜂（メス蜂）が鋭い毒針をもって人を刺します。蜂に刺される一番危険な時期は、蜂の巣が最も発達し蜂の数が多き時期です。アシナガバチは 7～8 月、スズメバチは 7 月～10 月、ミツバチは一年中危険です。

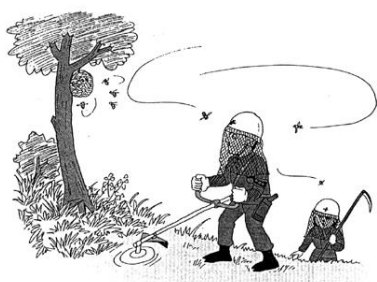


蜂のいる場所

蜂は主として山林や農村部に多く生息しています。住宅の庭の木、植え込みや玄関の軒下、側溝の蓋の裏など雨の当たらない暖かい処に巣が作られます。家の回りに蜂が増えたりしたときは、蜂の巣がないか慎重に調べてみましょう。ただし、蜂の巣をみつけてもむやみに近づくのは危険です。

蜂の攻撃

蜂は無差別に人に攻撃をしかけるわけではありません。巣を直接に刺激したり、巣を破損した場合、巣内から多くの蜂が一斉に巣の外へ飛び出してきて、興奮の激しいときは、相手の体に噛みつき、何度も毒針を突き立てます。スズメバチの攻撃では、巣に接近する人に対しては、警戒のため周囲を飛び回り、なおも近づく人に対しては、大顎を噛み合わせ「カチカチ」という威嚇音を発します。これに気づかず、巣に間接的的刺激を与えたときは、巣内から多くの蜂が飛び出して大騒ぎとなります。何らかの警告に気づいた段階で、速やかに危険区域から遠ざかるようにしましょう。



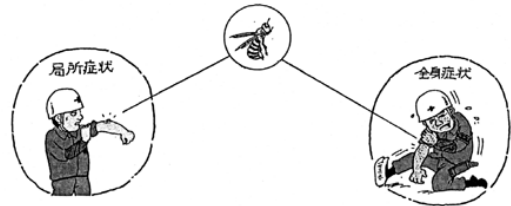
蜂への対策

蜂が毎年発生する場所で作業をするときは、顔面を保護するための防蜂網を着用すること。蜂は、頭部や顔部をねらってくるので防蜂網は効果があります。

攻撃を受けやすい色、服装等として、スズメバチは、黒い物に激しく反応（ミツバチは、色にはあまり反応しません。）し、攻撃を加えます。黒地の着衣、毛皮等は、攻撃を受けやすいので避けましょう。また、ヘアスプレー、香水等の化粧品や体臭等、匂いに対して敏感に反応します。蜂を刺激するような匂いも避けるようにしましょう。

蜂に刺されたときの症状

蜂に刺されたときの症状には、刺されたまわりにだけ現れる局所症状と、体中にでる全身症状とがあります。症状をよく観察し、直ちに緊急処置を行いましょう。



○軽い全身症状では、顔や体が酒を飲んだ時のように赤くなり、全身にかゆみが起こり、なんとなくだるい、苦しいといった症状があらわれます。

○中ぐらいの全身症状では、軽い全身症状に加えて、喉がつまったような感じがして胸苦しくなったり、口が渇き、口のなかがしびれたような感じがします。また、腹痛、下痢、吐き気を起こしたり、さらに頭痛、目まいがしたり、全身がむくんだりします。

○重症症状では、息をするのも苦しくなり、物を呑み込めなくなり、声がしわがれて、全身の力が抜け、その場にうずくまってしまいます。また、目が見えなくなったり耳が聞こえなくなったりして、意識がはっきりしなくなったりしますので、一刻を争って緊急処置をとらなければ死に至ることもあります。

蜂に刺されたときの処置

蜂に刺されたときは、次のような処置をすること。

- ①刺された場所から離れ、すぐに毒を絞り出し（口で吸い出さず、指でつねって吸い出す。吸引器〔ポイズンリムーバー〕があれば使用し吸い出す。）、刺されているところをきれいな水で洗います。
- ②赤く腫れはじめたところに、抗ヒスタミン軟膏を塗ります。
- ③手や足を刺された場合は、心臓に近い方を止血ゴム管等でしばります。ただし数分間隔でゆるめます。
- ④初期症状として、発疹、流涙、せき、嘔吐、下痢等の症状が見られる場合は、一刻も早く医師の手当てを受けるようにします。特に一度刺された経験のある人は、蜂毒に対して抗体が出来て蜂アレルギーになり、二度目に刺された時に身体が過剰に反応し、血圧が下がって生命に関わる危険な状態（アナフィラキシーショック）になることがあります。



ポイズンリムーバー